

多度津中学校改築News 第1号

本 News は、町の重要な事業である多度津中学校改築について町民の皆さまに幅広く知っていただくために町教育課が作成したものです。今後の進捗状況や決定された事項について、節目の時期に発行し情報提供をしたいと思っておりますのでどうぞ一読下さい。



多度津中学校の改築事業について

昭和30年の校舎完成以来、60年近くにわたり、流れゆく時代を見守りながら、多度津中学校は約1万7千人の卒業生を社会へと輩出してきました。

しかしながら、現在、鉄筋コンクリート建造物の耐用年数である建築後50年を経過した同校校舎の老朽化は否めず、多度津町では同校へ通う生徒の安全・安心な学習環境を確保するため、校舎・体育館の全面改築にむけた作業をすすめています。

その作業の一環として、昨年9月に策定したのが「多度津町立多度津中学校改築事業基本構想・基本計画」（多度津町のホームページでご覧になれます。）です。これは、町内各団体の代表の方や学識経験者の方で構成される「多度津中学校改築検討委員会」からご意見等をお伺いしながら作成したもので、新しい多度津中学校をどのような学校・施設とするのかを示したものです。

現在はこの「基本構想・基本計画」に基づいた「基本設計」を作成すべく、各種作業を行っています。



改築事業の大まかなスケジュール（予定）

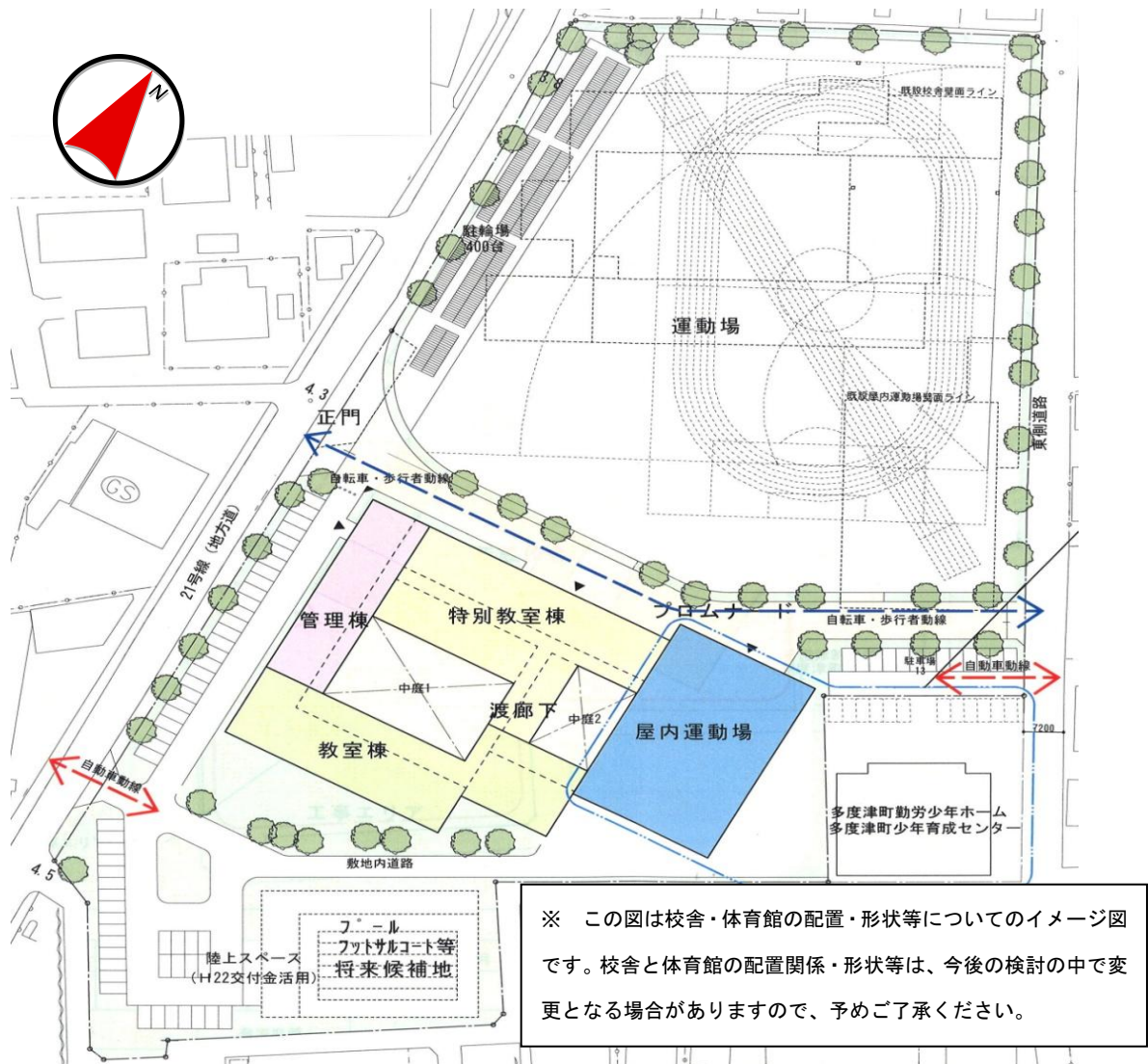
現在作業をすすめている「基本設計」は平成24年夏を目途に完成させる予定です。その後、平成24年度末までに「実施設計」、平成25年度と平成26年度の2年間をかけて「施工・解体」を行い、遅くとも平成27年4月には、新校舎の利用を開始できる予定です。



新 校舎・体育館の大まかな配置が決定しました！

新しい中学校は、現中学校敷地の中に建設されることが既に決定されていますが、去る1月16日に行われた「第5回多度津中学校改築検討委員会」で、校舎・体育館の配置案（「北校舎・南運動場」案と「南校舎・北運動場」案）について比較・検討を行いました。両案ともにメリット・デメリットがありましたが、改築検討委員会の最終的な取りまとめとしては、よりデメリットが少ない「南校舎・北運動場」案を採用するのが望ましいであろうという結論に至りました。

今後はこの配置計画の中で、校舎・体育館の平面・立面等の計画を作成していきます。（以下にイメージ図を掲載します。）



多度津中学校改築 News についてのご意見等は多度津町教育課 (kyouiku@town.tadotsu.lg.jp) まで。